



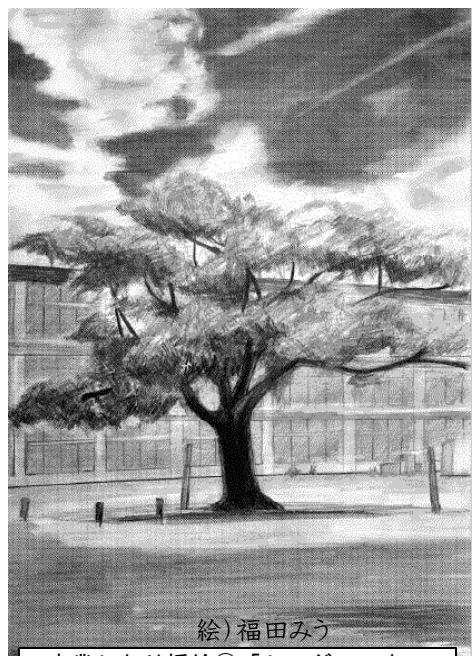
この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

第78回卒業式、172名が卒業しました！

3月16日(日)、第78回卒業式を実施しました。今年度の卒業生172名は、妻中の長い歴史においてアンカーにバトンを渡していく大きな役目を担つていましたが、オンとオフのメリハリがきいていて、明るくチームワークの良い素晴らしい学年だったと思します。式に臨む態度もとても立派でしたし、齋藤さんの述べた卒業生代表の辞は、参加した皆さん的心を打つ、とても味わい深い内容であつたと思います。生徒達の中には、証書授与の時から涙を拭つている人も少なくな



しおり挿絵②「卒業生が最後に目にする校門の風景」



卒業！おり挿絵①「ヤンダンの木」

三真の轍

妻中の歴史（二宮金次郎像③）二宮金次郎像のことを書くのは今回で三回目となります。閉校記念誌作成用でお借りした昭和30年のアルバムを見ていましたら左上の写真が目にとまりました。この金次郎像の左にあるやや高い建物は講堂、奥の平屋建て校舎は職員室や生徒玄関のあつた管理棟、そして金次郎の背中の右奥が正門になります。実はこの金次郎像の場所は、現在の体育館のすぐ東側であり、私の中学時代の記憶は正しかったようですし、台座の形からして現在妻地区館に建つ金次郎像（写真左下）はこの像が移転されたものと言えそうです▼戦前は、全学校に二宮金次郎像が建立されていましたが、それは金次郎の一寸暇を惜しんで一生懸命に勉強し、家の仕事も手伝いながらより良い生活を目指していく姿勢」が当時の子どもたちの教育で模範とされたからなのでしょう。現在は、歩きながら本を読む行為や子どもが薪を背負う姿が社会にそぐわないことから、この像を目にすることはほとんどなくなりました。ただし（前にも書きましたが）子孫の方によれば、この像が本当に表現したいことは「前に一步踏み出している足」にあります、どんなに苦しくてもくじけずあきらめずに前へ踏み出していく姿を感じとつて欲しいのだそうです▼ところでなぜ妻中学校にこの像があつたのでしょうか？それは妻中の建つ場所がもともとは妻小学校だつたからです。戦後当初

スピーチコンテストで全国3位に入賞！

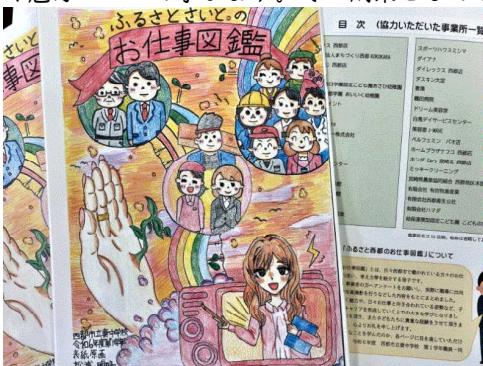
三月に入つてから、先に全国準優勝を獲得して、いたロボソンクラブの選手とともに新・押川市長を表敬訪問し（写真左下）、全国大会の様子や体験談などを報告しました。スポーツをはじめ、伝統の文武両道で頑張る妻中です。

2月22日に東京都で開催された「北方領土に関する全国スピーチコンテスト」で、本校3年生の坂本萌香さんが、全国3位に相当する北方領土問題対策協会理事長賞を受賞しました。坂本さんは、全国からの応募五、五〇一点の中から選ばれたファイナリスト10人が参加する全国大会に出場、審査講評で「最も興味深い内容だった」と表される未来志向の主張と高い表現力でこの賞を獲得しました。戦後から続くこの問題を風化させないためには若い世代が少しずつでも関心をもつことが大切と述べていました。



本年度も「お仕事図鑑」を制作！

一年生の「さいと学」下半期では、ふるさと西都で暮らし働く魅力について学びます。その成果として地元の事業所の



魅力を掲載した「ふるさと西都のお仕事図鑑」が完成しました。表紙は松浦明那さんが描いてくれました！

12名の先生方、お世話になりました！

このたびの定期異動及びご退職などで、本校の12名の先生方がご異動またはご退職されることになりました。これまでお世話になりました。新天地でもご活躍ください。

井上成二郎 教頭先生（校長採用、延岡市立上南方小中へ）

伊東 英司先生（国光原中へ） 多賀谷 寛先生（住吉中へ）

是枝さゆり先生(木城学園へ) 今藏屋太基先生(財光寺中へ)

芳野 敏生先生(大淀中へ) 恵利 育実先生(五ヶ瀬町三力所小へ)

長友讓司先生(竹久中等部へ) 佐田 志織先生(新採・大塚)

瀬藤勝弘先生（宮崎海洋高へ） 田代ひろ子先生（穂北中へ）

矢野 浩子先生